

2年振りに開催されたあゆまつり

7月22日(土)「第66回あゆまつり」が、市街地および中甲橋グリーンパークほかで2年振りに開催され、にぎわいを見せた1日となりました。

甲佐町観光協会の主催で、町、甲佐町商工会、町教育委員会が共催。

まつりの開幕を告げる「開会セレモニー」は、午前9時から町総合保健福祉センター・多目的ホールで開催され、龍神太鼓保存会への息の合った演奏で開会。関係団体が参加して安全祈願祭が執り行われました。

「子どもみこし」は午前10時30分から始まり、町総合保健福祉センター駐車場を発着点に、12団体約540人が参加。みこしを担いだ子どもたちが、暑さを打ち消すような掛け声とともに市街地を練り歩きました。みこし終了後に大井手川沿いで開催された「巨大そうめん流し」では、多くの人が集ってそうめんを味わい、中国伝統芸の「変面」を披露する「大道芸ショー」も開催され、子どもた



●龍神太鼓の演奏で始まった「開会セレモニー」●町中に掛け声が響いた「子どもみこし」●涼を満喫した「巨大そうめん流し」●力作が並んだ「街かどギャラリー」●子どもたちが夢中でつかんだ「アユのつかみ取り大会」●約500人が一同に踊った「総盆踊り大会」●まつりを盛り上げた「かかしコンテスト」と「おいであかり」



甲佐町の
夏の風物詩
第66回
あゆまつり

ちは熱心に観賞しました。

市街地では、甲佐町文化協会が「街かどギャラリー」を開催し、書道や絵画などの作品を展示。甲佐小学校周辺では、「かかしコンテスト」の作品15体が展示され、中甲橋近くの歩道には、夕暮れとともに「おいおいであかり」の竹でできた灯ろうなどが灯り、まつりを盛り上げました。

午後3時から、甲佐小学校プールで「アユのつかみ取り大会」を開催。約400人以上の子どもたちが、保護者の声援を受けて、泳ぎ回るアユと奮闘しました。

「総盆踊り大会」は、午後6時40分から甲南パークで開催され、14団体約500人が浴衣姿や法被（はっぴ）姿で踊りを披露。午後7時から中甲橋グリーンパークでステージイベントを開催した後、約3,000発の花火が夏の夜空を彩る「花火大会」を開催。観客は、しばし夏の暑さを忘れて夜空に咲き誇る花火に見入りました。

関連行事として、同日にグラウンドゴルフ大会、7月15日（土）・16日（日）に少年野球大会が開催されました。

